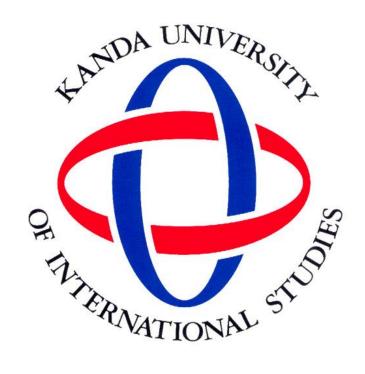
神田外語大学 留学生別科

2019年

か もくがいよう **科目概要**

せんたく か もく 【**選択科目**】



世んたくかもく もくじ 選択科目 目次

かもく 科目			りしゅう 履修	たいしょう 対象	レベル			ページ
作中日	1	2	3	4	5	6	7	
じ りつがくしゅう 自律学習1·2·3	•	•	•					1
じ りつがくしゅう 自律学習4·5·6				•	•	•		1
しょきゅうぶんぽうえんしゅう 初級文法演習2・3		•	•					2
しょきゅうぶんぽうえんしゅう 初級文法演習3・4			•	•				2
ちゅうきゅうぶんぽうえんしゅう 中級文法演習4·5				•	•			2
ちゅうきゅうぶんぽうえんしゅう 中級文法演習5・6					•	•		2
じょうきゅうぶんぽうえんしゅう 上級文法演習6·7						•	•	2
こうとうひょうげん 口頭表現2·3		•	•					3
こうとうひょうげん 口頭表現4·5				•	•			3
こうとうひょうげん 口頭表現6·7						•	•	3
ぶんしょうひょうげん 文章表現4·5				•	•			4
ぶんしょうびょうげん 文章表現6·7						•	•	4
^{はつおん} 発音1・2	•	•						5
^{はつおん} 発音3・4				•				5
^{はつおん} 発音5・6					•	•		5
ょ 読む・聞く 1・2	•	•						6

かもく 科目			り しゅう 履修	たいしょう 対象	ンベル			ページ
771	1	2	3	4	5	6	7	, ,
。 読む 3·4			•	•				7
じじにほんご 時事日本語6·7						•	•	8
しゃかいぶん か にゅうもん 社会文化入門1·2·3·4	•	•	•	•				9
しゃかいぶん か にゅうもん 社会文化入門5·6·7					•	•	•	9
しゃかいげん ご がく 社会言語学Japanese Sociolinguistics	•	•	•	•	•	•	•	10
わかものぶんか 若者文化 Culture of Young Japanese People	•	•	•	•	•	•	•	11
ビジネス文化入門4·5				•	•			12
ビジネス文化入門6・7						•	•	12
に ほん ご きょういくにゅうもん 日本語教育入門5・6・7					•	•	•	13
The History of Modern Japan B	•	•	•	•	•	•	•	14
Japanese Religions B	•	•	•	•	•	•	•	15
The History of Premodern Japan B	•	•	•	•	•	•	•	16
International Relations : Japan in the Asian Context B	•	•	•	•	•	•	•	17
Tourism and Local Cultures of Japan	•	•	•	•	•	•	•	19
Media and Japanese Society B	•	•	•	•	•	•	•	20
Japanese Politics	•	•	•	•	•	•	•	22
Japanese Popular Cultures B	•	•	•	•	•	•	•	23
The Languages of Japan IB	•		•	•	•	•	•	24
The Languages of Japan IIB	•		•	•		•	•	26
The Literatures of Japan B	•	•	•	•	•	•	•	27

かも< 科目		り しゅうたいしょう 履修対象レベル						ページ
	1	2	3	4	5	6	7	
Effective Language Learning Course I D	•	•	•	•	•	•	•	29
Effective Language Learning Course II A	•	•	•	•	•	•	•	30

		2 単位
自律学習 1·2·3	松尾 章	選択科目
自律学習 4·5·6	小林 久美子	春学期・秋学期開講
		火曜日2限

履修希望者が20名を超える場合には、抽選で履修者を決める。

授業内容

このコースは日本語能力および自律学習能力を培うことを目的とする。学生は自分で伸ばしたいと思う技能や知識を選び、学習を進める。

教師は、学生に教材および学習方法を紹介したり学習に関する様々なアドバイスをしたりすることを通して、学生が自分にあった学習の方法が見つけられるよう協力していく。

評価基準

授業参加度 20% 課題 60% 最終課題 20%

教 材

プリント教材

履修上の注意点

- 1. 毎回の授業には必ず出席し、学習した内容は必ず報告すること。
- 2. 自律学習の時間に他の科目の宿題をしないこと。
- 3. 自律学習の時間は自由時間ではないので、関係ないことはしないこと。

		2 単位
初級文法演習 2·3	櫻井 可菜	選択科目
初級文法演習 3·4	小林 久美子	春学期・秋学期開講
中級文法演習 4.5	小林 久美子	初級 2·3:月曜日3限
	小林 久美士 	初級 3·4:月曜日 4 限
中級文法演習 5·6	眞鍋 雅子	中級 4·5: 月曜日3限
上級文法演習 6.7	 松尾 章	中級5.6:月曜日4限
	似 毛 	上級6.7:水曜日3限

履修希望者が20名を超える場合には、抽選で履修者を決める。

授業内容

文法の意味や用法、使い分けを理解し、文法能力を高める。また、文法の学習方法を身につける。授業は学生が予習をしていることを前提で行う。

評価基準

授業参加度 20% クイズ 40% 課題 40%

教 科 書

初級:『改訂版 どんなときどう使う日本語表現文型 200』 アルク 中級: 『改訂版 どんなときどう使う日本語表現文型 500』 アルク

上級:『日本語文法セルフマスターシリーズ 7 条件表現』 くろしお出版

参 考 書

『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

履修上の注意点

- 1. 毎回の授業には予習の宿題を課す。
- 2. 毎回の授業で扱う語彙の意味を辞書などで調べてから授業に出席する。
- 3. 授業の終わりに自分の学習についての振り返りを行う。

□頭表現 2·3	一周	2 単位
	國方 滋美	選択科目
│□頭表現 4·5	李 榮	春学期・秋学期開講
□頭表現 6·7	高橋 亘	水曜日 1 限

履修希望者が15名を超える場合には、抽選で履修者を決める。

授業内容

このコースでは、よりよいコミュニケーションを遂行するための場面・機能に応じた日本語の口頭表現方法を学ぶ。

評価基準

授業参加度 20% 課題 50% 最終課題 30%

教 科 書

口頭表現 2・3: プリント教材

口頭表現 4.5:『初級から始めよう 新 にほんご会話トレーニング』アスク出版

口頭表現 6・7: プリント教材

履修上の注意点

1. 評価は日本語能力によるものではない。

2. 課題の提出の遅延は、正当な理由がない限り、減点の対象とする。

		2 単位
文章表現 4·5	李 榮	選択科目
文章表現 6·7	國方 滋美	春学期・秋学期開講
		木曜日1限

履修希望者が15名を超える場合には、抽選で履修者を決める。

授業内容

このコースでは、文章を書くときに必要な日本語の語彙や表現、テクニックを身につける方法を学ぶ。 また、授業で取り上げた文章の内容から日本の社会文化についての理解を深め、日本語で書かれた文章の背景を理解するための知識を増やすことも目指す。

評価基準

授業参加度 20% 課題 50% 最終課題 30%

教 材

プリント教材

履修上の注意点

- 1. 評価は日本語能力によるものではない。
- 2. 課題の提出の遅延は、正当な理由がない限り、減点の対象とする。

発音 1·2	櫻井		2 単位
発音 3·4		·	選択科目
	若月	理恵	春学期・秋学期開講
発音 5·6	稲葉	和栄	木曜日3限

履修希望者が10名を超える場合には、抽選で履修者を決める。

授業内容

このコースでは、学生が自分の発音上の問題点を認識し、その克服に必要な練習を行う。

学生は、教師やクラスメートのフィードバックを得ながら学習過程を振り返り、各自の能力や特性に合わせて効果的な学習を進められるようになることを目指す。

評価基準

授業参加度 20% 課題 50% 最終課題 30%

教 科 書

発音 1・2: プリント教材

発音 3・4: 『毎日練習!リズムで身につく日本語の発音』スリーエーネットワーク

発音 5・6: 『コミュニケーションのための日本語発音レッスン』戸田貴子著 スリーエーネットワーク

履修上の注意点

- 1. 評価は日本語能力によるものではない。
- 2. 課題の提出の遅延は、正当な理由がない限り、減点の対象とする。

		2 単位
 読む・聞く 1·2		選択科目
がり。 同他 !	高橋三	春学期・秋学期開講
		金曜日 3 限

履修希望者が15名を超える場合には、抽選で履修者を決める。

授業内容

このコースは、さまざまな読み・聞きの活動を通し、総合的に読解力及び聴解力を伸ばすことを目的とする。

評価基準

授業参加度 40% 課題 60%

教 材

プリント教材 その他適宜指示する

履修上の注意点

課題の提出の遅延は、正当な理由がない限り、減点の対象とする。

	きまり O 4 本 ※	2 単位
 読む3·4		李榮
記む3·4 子 米	术	春学期・秋学期開講

履修希望者が15名を超える場合には、抽選で履修者を決める。

授業内容

授業では様々なタイプの文章を通して、日常的で身近な話題、あるいは自分が興味がある話題であれば、テクストの内容が理解できるようになることを目指す。

評価基準

授業参加度 20% 定期テスト (3回) 40% 課題 40%

教 材

プリント教材 その他適宜指示する

履修上の注意点

課題の提出の遅延は、正当な理由がない限り、減点の対象とする。

			2 単位	
時事日本語 6·7	徳永	なかわ	選択科目	
□ 母争□ 本品 O. 1	侍事日本語 6·7 │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │	MVM MVMM	0017.19	春学期・秋学期開講
			月曜日3限	

履修希望者が15名を超える場合には、抽選で履修者を決める。

授業内容

このコースでは、専門的な単語を含んだ様々な分野の新聞記事を読んだり、ニュース動画を観て理解できるようにすることを目指す。それぞれの記事やニュースの背景についても学ぶ。

評価基準

授業参加度 20% クイズ 40% 課題 40%

教 材

プリント教材

履修上の注意点

1. 課題の提出の遅延は、正当な理由がない限り、減点の対象とする。

社会文化入門 1·2·3·4 社会文化入門 5·6·7

若月 理恵 眞鍋 雅子 2 単位 選択科目 春学期・秋学期開講 金曜日 4 限

履修人数制限

履修希望者が15名を超える場合には、抽選で履修者を決める。

授業内容

社会文化入門 1·2·3·4 は、初中級の留学生のために簡単な日本語で行われる日本事情のクラスである。日本の文化、日本で生活するときに必要な知識などを学ぶ。様々な調査やプロジェクトを通して、日本の社会と文化に関する事柄を中心に学習していく。また、課外学習を通して、クラスの中では体験できないことも学ぶ。学生の興味や疑問を積極的に取り入れていく。扱うトピックは地理、教育、環境、自然災害など。

社会文化入門 5·6·7 は、中上級の留学生を対象に日本および日本社会について理解を深めるための日本事情のクラスである。日本の習慣・行動様式や現代の日本における文化・社会現象を学ぶ。日本の文化・社会を固定的にとらえるのではなく、話し合いや他者とのインターアクションによって様々な価値観を理解し、クラス全体で日本の文化・社会について探求する。

また、各学習者は日本の文化・社会に関するテーマで自分自身の「問い」を立て、それを検証して発表し、レポートにまとめる。

評価基準

授業参加度 20% クイズ 10% 課題 40% 最終課題 30%

教 材

プリント教材

参 考 書

『探検しよう! 初級日本事情』神田外語大学留学生別科 『改訂版 話そう考えよう 初級日本事情』スリーエーネットワーク 『日本人の心が分かる日本語』アスク出版

履修上の注意点

- 1. 評価は日本語能力によるものではない。
- 2. 補助的に英語を媒介語として使用する場合がある。
- 3. 課題の提出の遅延は、正当な理由がない限り、減点の対象とする。

		2 credits
Japanese	Sau Kuen Fan	Elective
Sociolinguistics b		Fall semester
		Tue 4th Period

Pre-requisites Competence in reading and speaking in English.

No previous study of sociolinguistics or intercultural communication is required although experience of learning a foreign / second language and contact with Japanese native speakers would be helpful.

Enrollment Quota A draw will be held in the first class if the number of students is over 15.

Note: This course is listed in the Bekka Program and in the IES Program.

Course Content

Politeness in Japanese

This course aims to introduce students to the field of sociolinguistics and the fundamental features of Japanese sociolinguistics. Course contents are designed to provide students basic knowledge about how Japanese language is used in the society and to develop their ability and confidence to interact with Japanese native speakers. In this semester the focus will be placed on "Language behavior: politeness in Japanese". The following topics will be covered.

Week 1: Orientation

Week 2: How politeness is expressed in Japan

Week 3: Some politeness theories

Week 4: Self-introductions and politeness in Japanese

Week 5: Compliments and politeness in Japanese

Week 6: Apologies and politeness in Japanese

Week 7 Visitor session / Special lecture

Week 8: Humbleness and politeness in Japanese

Week 9 Invitations, refusals and politeness in Japanese

Week 10: Disagreements and politeness in Japanese

Week 11: Complaints and politeness in Japanese

Week 12: Expression of one's willingness/desire and politeness in Japanese

Week 13: Private questions and politeness in Japanese

Week 14: Further studies on politeness in Japanese

Grading Class participation 20%, Assignments 20%,

Plan for mini survey 5%, Final report 55 %

Textbook Course reader, lecture handouts

References Naotsuka, R. (1980) Oobeijin ga Chinmoku suru toki (When Westerners

are not speaking up). Taishukan Bookshop.

Messages for students

- Language of instruction: English and/or Japanese according to the needs of the students. While
 lectures will be mainly delivered in English, some competence in listening and speaking
 Japanese is required for participation in discussion. Written work can be submitted in either
 English or Japanese. Note that this is not a language course. Students can speak either Japanese
 or English freely in class and will not be assessed based on the level of language ability.
- 2. Method of presentation: In each class, the main contents and tasks for discussion will be shown in power point slides. Students are encouraged to participate in discussion according to their own learning and personal experience. Students in the course will be required to read English academic articles and to collect first hand data from Japanese visitors for the final report.

Culture of Young		2 credits
Japanese People:		Elective
Identity and Gender in	Mitsuhiro Yoshida	Fall semester
Pop Culture		Thu 4 th period

<u>Pre-requisites</u> Competence in reading, speaking and writing in English. Willingness to talk with the Japanese students(This course is for both Bekka&IES students and Japanese students).

Enrollment Quota The Maximum number of Bekka&IES Students is 20. This course is open not only for the international students but also for the Japanese students (The Maximum number of the Japanese students is 25.). A draw will be held if more than 20 Bekka&IES students attend on the first day of the class. (Another draw will be held to decide the Japanese students who can take this course. Last year approximately 40 Japanese students came to the first day of the course.)

Course Content

This course is a seminar style course in which to examine the cultures of young people and their identity and gender in anthropological perspectives. Students can learn their pop culture in everyday life by discussing with Japanese students. We analyze what cultural meanings are interwoven with their identity formations by incorporating Western goods and ideas in the everyday life styles.

We will analyze, for example, what the Japanese experience at department stores in Japan and what cultural meanings are attached to the consumption behavior. We will explore the same kind of questions in many different contexts. We will analyze what the Japanese perceive when they eat hamburgers at McDonald's, when they use English-loan words, when they visit Tokyo Disneyland, when they collect cute goods for themselves, and when they see idol groups. We also discuss how the Japanese see love and dating and construct gender relations. Within these cultural contexts in daily life, we will examine how the Japanese culture is interwoven within the popular cultural scenes.

Japanese singers' lives, films on dating and love, and a documentary film of the all-girl idol group will be shown for further discussions.

Topics covered are the followings:

1. Introduction Week 1

2. Basic understanding of anthropological perspectives, and fieldwork Week 2 & 3

Week 4 3. Department stores Week 5 4. McDonald's 5. Tourism and travelling Week 6 6. English loanwords Week 7 & 8 7. Film: dating and love Week 9 Week 10 8. Cute culture 9. Idol (all male idol group, Arashi) Week 11 10. Idol (all girl idol group, AKB 48) Week 12 11. Tokyo Disneyland Week 13 12. Film: Change in the images of gender Week 14

After understanding the overall framework of anthropological ways to look at Japanese culture in the first and second weeks, each of the topics above will be analyzed in two different ways: 1) understanding of the reading materials; 2) discussing the issues presented in the article and/or other materials. Other materials and assignments are provided for further discussions and analyses.

Grading Policy Class discussions, participations, presentations, a take-home examination. Course reader is available at the Copy Center of KUIS.

Handouts are provided for further in depth understandings.

Messages for students

This course is a seminar style course for the Japanese students as well as the Bekka&IES students. Throughout the course, the international students need to discuss with the Japanese students about the various topics on pop culture. Students will be able to comprehend the Japanese values and perceptions which emerge from the interactive discussions.

ビジネス文化入門 4.5 ビジネス文化入門 6.7

徳永 あかね 眞鍋 雅子 2 単位 選択科目 春学期・秋学期開講 金曜日 3 限

履修人数制限

ビジネス文化入門 4·5: 履修希望者が 15 名を超える場合には、抽選で履修者を決める。 ビジネス文化入門 6·7: 履修希望者が 20 名を超える場合には、抽選で履修者を決める。

授業内容

ビジネス文化入門 4・5 では、アルバイトなど、身近な場面を起点に、将来、企業やその他の職場で日本人と接する機会に必要とされるビジネス・コミュニケーションについて理解することを目指す。

ビジネス場面で使われる日本語表現や、コミュニケーションに必要な日本語使用の視点を学び、母国との違いを理解することを目指す。

ビジネス文化入門 6·7 では、将来、企業やその他の職場で日本人と接する機会に必要とされるビジネス・コミュニケーションについて理解することを目指す。

ビジネス場面で使われる日本語表現に加え、日本人とのフォーマルな場面でのコミュニケーションに必要な日本語使用の視点を学び、母国との違いを理解することを目指す。

評価基準

授業参加度 20% クイズ 10% 課題 40% 最終課題 30%

教 科 書

ビジネス文化入門 4・5: 秋学期『1日10分のシャドーイング! 就活・仕事のにほんご会話』アスク出版

ビジネス文化入門 6・7:秋学期『にほんごで働く!ビジネス日本語 30 時間』スリーエーネットワーク

履修上の注意点

- 1. 評価は日本語能力によるものではない。
- 2. 課題の提出の遅延は、正当な理由がない限り、減点の対象とする。

日本語教育入門 5.6.7	举日 珊 毒	2 単位	
		若月 理恵	選択科目
	67		春学期・秋学期開講
			木曜日 4 限

履修希望者が15名を超える場合には、抽選で履修者を決める。

授業内容

授業では、「教案作成」「教材作成」「リソース収集」を取り上げ、母国の学習者を対象とした初級日本語の教え方や教材作りについて学ぶ。特に直接法を使った新しい文型の導入方法に焦点を当てる。

評価基準

授業参加度	20%
クイズ	10%
課題	40%
最終課題	30%

教 材

プリント教材

履修上の注意点

1. グループ活動

実際の教育現場で求められる「協働作業能力」を身に付けることを目的とする。従って、グループでの話し合い、分担作業に積極的に取り組むことが求められる。

2. 模擬授業

互いに生徒役になり、初級日本語の模擬授業を行う。

		2 credits
The History of Modern	Andrew Kamei-Dyche	Elective
Japan B	Andrew Kamer-Dyche	Fall semester
		Mon 2 nd period

Language English

Subtitle Survey of Modern Japan

Course Descriptions & Objectives

The course aims to provide students with an overview of the history of modern Japan, from the end of the Edo period through to the present day. They will encounter some of the most important individuals, institutions, and ideas that have been involved in Japan's rise as a modern power. Students will become familiar with the trajectory of Japan's historical development, and learn about the major political and social developments that contributed to the establishment and ongoing transformation of the modern Japanese state and contemporary Japanese society.

Lecture Topics

Week 1: Introduction

Week 2: Early Modern Japan: Japanese Culture and Society in the Late Edo Period

Week 3: Renewing Relations with the West and the End of the Bakufu

Week 4: The Meiji Modernization Project

Week 5: Society and Culture in the Meiji Period

Week 6: The Emergence of a Japanese Empire

Week 7: Early 20th-Century Japanese Society

Week 8: An Era of Crisis and the Road to War

Week 9: An Era of Crisis and the Road to War (cont.)

Week 10: The Second World War

Week 11: Like a Phoenix: Postwar Reconstruction and the New Political System

Week 12: The "Economic Miracle" and Postwar Society

Week 13: The "Economic Miracle" and Postwar Society (cont.)

Week 14: The Bubble Economy, "Cool Japan" and Contemporary Society

Week 15: Conclusions

Grading

Written assignments: 50%

Final exam: 50%

Additional Comments

Texts will be provided by the instructor as needed.

Course of Class		
Japanese Religions B	Andrew Kamei-Dyche	2 credits
		Elective
		Fall semester
		Mon 3 rd period

Language English

Subtitle Japanese Religion from Past to Present

Course Descriptions & Objectives

The course aims to provide students with a thorough grounding in the major religious traditions of Japan, beginning with the earliest ritual practices and proceeding through to the complex role of religion in contemporary society. Students will become familiar with the principle beliefs and practices of various religions, as well as key traditional Japanese religious concepts concerning everyday life that remain influential today.

Lecture Topics

Week 1: Introduction

Week 2: Animism and the Roots of Japanese Religion

Week 3: Shinto: Folklore and Concepts

Week 4: Shinto: Local Spiritual Tradition vs National Ideology

Week 5: Confucianism, Daoism, and Chinese Classical Learning

Week 6: Confucianism, Daoism, and Chinese Classical Learning (cont.)

Week 7: Buddhism: Origins and Key Concepts

Week 8: Buddhism in Japan: Sects and Practices

Week 9: Conceptions of Purity, Life, and Death

Week 10: Religion and Gender in Japan

Week 11: Christianity in Japan

Week 12: Japanese Religion and the Modern World: Modernization, War, and the State

Week 13: Japanese Religion and the Modern World: New Religions

Week 14: Religion in Contemporary Society and Pop Culture

Week 15: Conclusions

Grading

Written assignments: 50%

Final exam: 50%

Additional Comments

Texts will be provided by the instructor as needed.

	Andrew Kamei-Dyche	2 credits
The History of Premodern Japan B		Elective
		Fall semester
1		Mon 4 th period

Language English

Subtitle Survey of Premodern Japan

Course Descriptions & Objectives

The course aims to provide students with an overview of the history of premodern Japan, from the oldest traces of civilization on the Japanese archipelago to the founding of the Tokugawa Bakufu at the start of the seventeenth century. Students will become familiar with the major political and social developments of Japanese history, as they encounter such historical contexts as the flourishing court culture of the classical era or the chaotic warfare of the Sengoku period. They will learn about some of the most important individuals, institutions, and ideas that have shaped premodern Japan and continue to exert influence in subtle ways down through the ages.

Lecture Topics

Week 1: Introduction

Week 2: The Quest for Origins: Myth, Chronicles, Archaeology Week 3: Consolidation and Kingship: The Early Japanese State

Week 4: The Nara Period: An Age of Buddhism and Chinese Knowledge

Week 5: The Heian Period: Japan's Classical Age

Week 6: The World of Michinaga and Lady Murasaki: Life in Heian Japan Week 7: The Shaking of the Classical Order and the Rise of the Warriors

Week 8: The Kamakura Period and Japan's Dual Polity

Week 9: Go-Daigo Tennō and the Revolt Against Kamakura

Week 10: The Muromachi Period

Week 11: Society and Culture in the Medieval Era

Week 12: The Dawn of the Sengoku Period

Week 13: The Struggle for Unification, Part I: The Europeans Arrive

Week 14: The Struggle for Unification, Part II: The Unifiers

Week 15: Conclusions

Grading

Written assignments: 50%

Final exam: 50%

Additional Comments

Texts will be provided by the instructor as needed.

International Relations:		2 credits
Japan in the Asian	Takaaki Mizuno	Elective
		Fall semester
Context B		Mon 4 th period

Language English

Subtitle The Long Peace or the Cold War?

Course Descriptions & Objectives

The objective of this course is to provide a fresh look at Japan's strategic choices in the coming decades. In East Asia, There are contradictory trends which will determine the regional order for the future. On the one hand, there is an irreversible wave of globalization, regional economic integration and cultural and civilian exchages and cooperation. On the other hand, there is a resurgence of nationalism and deep mistrust among nations around Japan. Territorial disputes and history issues are just two conspicuous symptoms. We will examine these trends from various perspectives.

Lecture Topics

- Week 1: War and Peace in East Asia: geopolitical implications/ historical backgrounds/ economic focus of the powers
- Week 2: The collapse of the Empire: The different meanings of the 8.15/the terms of surrender/ the role of Emperor
- Week 3: Remaking Japan: MacArthur and "New Dealers" / the Pacifist Constitution and its article 9
- Week 4: the US-Japan security alliance: Yoshida doctrine/Okinawa as a cornerstone for the U.S. strategy in Asia
- Week 5: Vietnam War and the Nixon Shock: the prototype of the U.S.-Japan-China triangle
- Week 6: Japan and South Korea: ROK-Japan 1965 Treaty/ Korean democratization
- Week 7: Japan and North Korea/ Abduction issue and Koizumi visit/ Nuclear Crisis and the 6 party talks/Normalization talk
- Week 8: Nuclear Disarmament a message from Japan/Hiroshima and Nagasaki/NPT and the CTBT
- Week 9: Northern Giant: Russo-Japan relations/Northern territory/from Yeltsin to Putin/the LNG deal
- Week 10: ASEAN and Japan: the anti-Japan riots and the Fukuda doctrine/the Cambodia Peace Process/ a new role of Japan
- Week 11: Managing the "global alliance": from Ron-Yasu to Koizumi-Bush /burden sharing and HNS/Gulf War and Iraq War
- Week 12: Unfinished approach to reconciliation: Emperor's remarks/Murayama statement/ "comfort woman" issue
- Week 13: "Strategic, mutual beneficial relationship"/a delicate balance between security and economy
- Week 14: Chinese "peaceful" rise and the rearming Japan/The U.S. presence in Asia: Rebalancing or the "new type relations"
- Week 15: In-class examination

Textbook

Asia Watches Japan < Revised Edition > by Hideo Takemura, Nan'un-do, 2015

Reference Books

Japan in war and peace by John Dower, The New Press, 1993 Securing Japan by Richard Samuels, Cornell University Press, 2007 Critical Issues in Contemporary Japan by Jeff Kingston, 2014

Grading

Class participation and presentation (50%) Final examination (50%)

Additional Comments

Students are required to make a presentation on their selected topics in class.

		2 credits
Tourism and Local Cultures of Japan	Taketo Naoi	Elective
	Taketo Naoi	Fall semester
		Mon 4th period

Language

English

Course Descriptions & Objectives

Tourism is a composite of people, resources and businesses, which provide tourists with experiences that cannot be sought in their daily lives, and entails various impacts on visited environments. Introducing basic terms, theories and models that are recognized internationally, this course aims to help learners grasp the structure of academic tourism studies and understand the pros and cons of tourism promotion from the perspectives of both tourists and destinations. Also, this module provides learners with opportunities to look at some issues related to Japanese tourism with reference to knowledge of international tourism studies.

Lecture Topics

Week 1: Introduction

Week 2: Concepts and definitions of tourism (for tourism statistics)

Week 3: Concepts and definitions of tourism (for social sciences)

Week 4: Characteristics of tourists

Week 5: Tourism demands and their determinants

Week 6: Tourism demands and their determinants (cases of Japanese young international travelers)

Week 7: Tourism resources and their attributes

Week 8: Formation of the tourist gaze (What do we look at in a Japanese historical district?)

Week 9: The economic impact of tourism (direct effects)

Week 10: The economic impact of tourism (indirect effects)

Week 11: The environmental impact of tourism (visitor control)

Week 12: The environmental impact of tourism (evocation of environmental awareness)

Week 13: The socio-cultural impact of tourism (their causes)

Week 14: The socio-cultural impact of tourism (tourists' interaction with locals)

Week 15: Conclusions

Reference Books

1. Tourism: principles and practice, 4th ed. by Cooper et al., Prentice Hall, 2008

ISBN: 978-0273711261

2. Tourism Management, by Weaver & Lawton, John Wiley & Sons, 2014 ISBN: 978-1118644812

Grading

To be based on a term-end paper (70%) and students' comments on the response card handed out at each lecture (30%)

Instructions to Students

As a general rule, the maximum number of students who are allowed to take this course is 50. They will be selected from among the attendants of the first lecture.

You will come across quite a lot of technical terms and theories particular to tourism studies. Please look up the terms that you did not understand during the lecture and refer to cited materials for your further understanding of the theories.

			2 credits
Media and	Japanese	Silvia Gonzalez	Elective
Society B	Silvia Guilzaiez	Fall semester	
		Tue 4 th period	

Language English

Subtitle Images from mass media: Japan in the world.

Course Descriptions & Objectives

Japanese society is portrayed in the world's media today. And they will make a contrast with the image of foreign countries' issues represented in the Japanese media.

This complementary vision may help students to construct their own critical evaluation on the imaginary of a society built by mass media.

Lecture Topics

- Week 1: Introduction to the course. Media and society. Japan: representations in the world.
- Week 2: The untold history. Censorship and propaganda. War and peace.
- Week 3: Media and social responsibility. Content analysis. The importance of language.
- Week 4: Media in war and peace. A case study: Lessons from Hiroshima and Nagasaki.
- Week 5: Modern Japan: current topics in mass media.
- Week 6: Japan portrayed in foreign media. Some case studies Session 1
- Week 7: Japan portrayed in foreign media. Some case studies Session 2
- Week 8: Reflections on the global imaginary of Japan through foreign media (Mid-term report).
- Week 9: Japanese media and the public: from traditional readers to a new digital generation.
- Week 10: Foreign countries portrayed in Japanese media. Some case studies Session 1
- Week 11: Foreign countries portrayed in Japanese media. Some case studies Session 2
- Week 12: Communication for peace: understanding differences and the challenge for a new generation.
- Week 13: Contrast of current topics presented by mass media in Japan and foreign countries. Some case studies Session 1 (Final presentations)
- Week 14: Contrast of current topics presented by mass media in Japan and foreign countries. Some case studies Session 2 (Final presentations)
- Week 15: Reflections on the influence of media in the public opinion in cases of Japan and other countries. Peace proposals for news coverage (Final report).

Grading

Class participation: 10 %

Presentation of case studies: 30 %

Final presentation: 20 %

Mid-term and final report: 40 %

Additional Comments

Reference books, magazines and other materials to be adapted depending on the selected topics of discussion.

Instructions to Students

Students will be encouraged to be active in the exchange of opinions and suggestion of topics in the class. Questions and answers may be useful for ideas to be included in written reports.

Japanese Politics		2 credits
	Masato Kimura	Elective
	Wasato Kimura	Fall semester
		Thu 3 rd period

Language

English

Course Descriptions & Objectives

In this course, I will address several challenges for Japanese politics, placing importance on the following three aspects: 1) characteristics of Japanese politics, 2) both the success and failure of modern Japanese politics since the late 19th century until now, and 3) the impacts of global society changes on Japanese politics. Through this class, students will learn how Japanese politics has been deeply affected and shaped by the changes of both domestic and global society. I will lead discussion on how class participants can understand and solve serious contemporary challenges.

Lecture Topics

- Week 1:Introduction: The purpose of this class and grading.
- Week 2: Challenges for Japanese Politics-1: An overview on the Constitution of Japan since World War II until today.
- Week 3: The Constitution of Japan: Recreating, Revising, Amending or Keeping?
- Week 4: Challenges for Japanese Politics-2: An Overview of "Abenomics" since 2014.
- Week 5: Beyond Abenomics: Sustainable Economic Growth or Bankruptcy with Higher Inflation?
- Week 6: Challenges for Japanese Politics-3: An Overview of Aging Society
- Week 7: How to accept immigration?
- Week 8: Challenges for Japanese Politics-4: An Overview of US-Japan Alliance since 1951.
- Week 9: How to change US-Japan Alliance under the new American President?
- Week 10: Challenges for Japanese Politics-5: An Overview of China-Japan Relationships since Opium War in 1840 until now.
- Week 11: How to create the amicable and stable relationships between East Asian countries.
- Week 12: Challenges for Japanese Politics-6: An Overview of the Impacts of Natural Disasters on Japanese Politics.
- Week 13: How to cope with the future big earthquakes?
- Week 14: Conclusion
- Week 15: Class Exam

Textbook and References

The class will not use a textbook. I will introduce several books and articles in each class.

Grading

Class Exam: 30 percent Essay: 30 percent

In Class Participation: 40 percent

Instructions to Students

As I will pay close attention to the students' participation, I welcome their enthusiastic participation in the class discussions.

Japanese Popular Cultures B	Mark Winchester	2 credits
		Elective
		Fall semester
		Fri 2 nd period

Language English

Course Descriptions & Objectives

Japanese popular culture has gained global influence. Whether it be movie culture, animation, television, the Internet, social media, music, fashion, and comics (manga). Japan's visual culture, specifically television and movies, animation (anime) and manga, has spread around the world during the second half of the twentieth century. Academic interest in these exports, both at home in Japan, and overseas, has also developed rapidly. With the digitization of much of the global media, new platforms on which Japanese pop culture has been presented and critiqued, engaged, and transformed have emerged. This course will take a critical look at some of the most up-to-date English language academic writing on Japanese popular cultures - their production, reproduction and socio-historical and socio-geographical importance.

Textbook

Introducing Japanese Popular Culture, Alisa Freedman, Routledge 2018

The End of Cool Japan, Mark McLelland, Routledge 2016

Grading

Class Worksheets (25%) Seminar Presentation (25%) Response papers (25%) Class Quizzes (25%)

		2 credits
The Languages of Japan I B	Mark Winchester	Elective
	Wark winchester	Fall semester
		Fri 3 rd period

Language English

Course Descriptions & Objectives

Japanese society, like all nominally designated national societies, is inherently multilingual. In fact, it is precisely because of the fundamental multilingual nature of society that claims concerning the exceptional nature of singular national languages - and attempts to interpret them as extensions of the territory in which their speakers live - become possible in the first place.

This course aims to address the synchronic and diachronic diversity of the languages spoken in modern and contemporary Japan. Through studying their historical transition, regional diversity, as well as differences in linguistic characteristics according to gender and the workplace, this course will enable students to gain an understanding of language in Japan as a radically plural phenomenon.

At the beginning of the semester students will form study groups that will work together in class on the assigned texts throughout the course. The course will be split into two parts. In part one we will read and discuss the Japanese writer Mizumura Minae's 2008 bestseller, The Fall of the Japanese Language in the Age of English. From this reading we will discuss the challenges facing the Japanese language in the contemporary world, with a particular emphasis on language education. In part two of the course we will examine the following topics: loan words, hybrid languages, dialect language and the media, language and ideology, translation, Korean, the Ainu language, and gender.

Lecture Topics

- Week 1: Organizational Meeting
- Week 2: The Fall of Language in an Age of English: Japan Echo Activity
- Week 3: The Fall of Language in an Age of English, Chapter 1
- Week 4: The Fall of Language in an Age of English, Chapter 2
- Week 5: The Fall of Language in an Age of English, Chapter 3
- Week 6: The Fall of Language in an Age of English, Chapter 4
- Week 7: The Fall of Language in an Age of English, Chapter 5
- Week 8: The Fall of Language in an Age of English, Chapter 6
- Week 9: The Fall of Language in an Age of English, Chapter 7
- Week 10: Loan Words: Takako Tomoda 'The impact of loan words on modern Japanese' Japan Forum, 2007.
- Week 11: Dialects: Debra J. Occhi 'Dialect speakers on dialect speech'
- Week 12: Korean: Sonia Ryang 'The performative and its effects'
- Week 13: Ainu: Tamura Suzuko 'Ainu language: features and relationships,'

Nakagawa Hiroshi 'Ainu language: present and future'

Week 14: Gender: Keiko Nakamura 'Gender and language in Japanese preschool children,' Research on Language and Social Interaction, 2010.

Week 15: Final Exam

Textbooks

The Fall of Language in an Age of English by Minae Mizumura, Columbia University 2015 『日本語が亡びるとき:英語の世紀の中で』水村美苗 ちくま文庫 2015

Grading

Essay (25%)

Group worksheets (25%)

Class participation (25%)

Final exam (25%)

Additional Comments

One session per week, including seminars, group worksheets, mini-lectures and film presentations. Preparation and participation in group and seminar discussions is compulsory.

The Languages of Japan II B	Mark Winchester	2 credits
		Elective
		Fall semester
		Fri 4 th period

Language English

Course Descriptions & Objectives

Prior to the Meiji Period (1868-1912), the idea of a single, unified Japanese language did not exist. It was only as Japan was establishing itself as a modern nation-state and creating an empire with expanding colonies that the need for a national language to construct and sustain Japan's national identity arose.

This course will examine the historical and linguistic changes that led to the creation of Japanese as a "kokugo" (national language) and consider the contemporary ramifications that this national linguistic project has for the ways in which we speak the Japanese language, and other languages, in Japan today.

Textbooks

The Ideology of kokugo by Lee Yeounsuk, University of Hawaii 2009

『金田一京助と日本語の近代』安田敏朗 平凡社新書 2008

Grading

Class presentation (30%)

Response papers (25%)

Group worksheets (25%)

Class quizzes (20%)

The Literatures of Japan B	Mark Winchester	2 credits
		Elective
		Fall semester
		Fri 5 th period

Language English

Course Descriptions & Objectives

This course has two aims: 1) to explore and investigate exactly what makes modern Japanese literature "modern" "Japanese" and "literature" and 2) attempt to use modern Japanese literature as a prism thorough which to think and examine the modern history of Japan. The course broadly follows the outline provided in the textbook, 『文学で考える〈日本〉とは何か』(双文社、2016年) and look at Japan's literary history through 4 main topics: 1) Creating "Japan", 2) Imperial "Japan", 3) Living the "Postwar" and 4) Diverse "Japan". Each week we will read a short story in class and students will write and submit a short review based upon study questions the following week. We will read novels by: Kunikida Doppo, Mori Ogai, Izumi Kyoka, Dazai Osamu, Nakajima Atsushi, Ushijima Haruko, Katsuei Yuasa, Kim Jang-Han, Kojima Nobuo, Mishima Yukio, Oe Kenzaburo, Nakagami Kenji, Hatosawa Samio, Medoruma Shun, and Kirino Natsuo.

Lecture Topics

- Week 1: Organizational Meeting
- Week 2: Kunikida Doppo, The Shores of the Sorachi River (「空知川の岸辺」1902 年)
- Week 3: Mori Ogai, Under Reconstruction (「普請中」1910 年)
- Week 4: Izumi Kyoka, The Holy Man of Mount Koya (「高野聖」1900 年)
- Week 5: Dazai Osamu, December 8 (「一二月八日」1942 年)
- Week 6: Nakajima Atsushi, Mariyan (「マリヤン」)
- Week 7: Ushijima Haruko, A Man Called Shuku(「祝という男」1940年)
- Week 8: Katsuei Yuasa, Document of Flames and Kim Jang-Han, Various Poems
- Week 9: Kojima Nobuo, American School (アメリカン・スクール、1955 年)
- Week 10: Mishima Yukio, Patriotism (憂国、1960年)
- Week 11: Oe Kenzaburo, Seventeen (セブンティーン、1961年)
- Week 12: Nakagami Kenji, The Immortal (不死、1980年)
- Week 13: Medoruma Shun, Droplets (水滴、1997年)
- Week 14: Hatosawa Samio, Empty Prose of Testimony (証しの空文、1973 年)
- Week 15: Ito Hiromi, Mother Leads Us to the Wasteland Where We Settle Down

Textbook

Bungaku de kangaeru Nihon toha nanika, Iida Y., Hidaka Y., Hibi Y., Kanrin Shobo 2016

Grading

Essay (40%)

Seminar Presentation (20%)

Class Participation (20%)

Class Worksheets (20%)

Additional Comments

Course Format: One session per week, including seminars, student presentations and book review feedback. Preparation and participation in group and seminar discussions is compulsory.

< ELLC >

		2 credits
Effective Language Learning Course I D	Dhillin Danna44	Elective
	Phillip Bennett	Fall semester
		Tue 1st period

Language Lectures will be delivered in English

Enrollment Quota A draw will be held if the number of Bekka students is over 5.

Note: This course is listed in the undergraduate program.

This course is designed for nonnative speaker of English.

Subtitle Become a better language learner

Course Descriptions & Objectives

In this course, students will (1) learn about good ways to study languages, be in charge of their own language learning and use the SALC. (2) Students will make a plan that suits their goals and interests and follow that plan in order to improve their language skills. (3) Students will reflect on their learning with help from learning advisors and classmates.

Lecture Topics

- Week 1: Course Introduction: Orientation, about this course, expectations, grading, learner profile, language learning history.
- Week 2: Unit 1: Needs analysis.
- Week 3: Unit 2: Strategies and Resources Pt 1.
- Week 4: Unit 3: Strategies and Resources Pt 2.
- Week 5: Unit 4: Learning Plan.
- Week 6: Try out the learning plan, share with peers in class.
- Week 7: No class (individual advising sessions instead).
- Week 8: Implementation Week 1. Peer advising.
- Week 9: Implementation Week 2. Peer advising.
- Week 10: Implementation Week 3. Group advising.
- Week 11: Implementation Week 4. Peer advising.
- Week 12: Workshop on 'evaluation'. Make changes to learning plan. Implementation Week 5. Peer advising.
- Week 13: Implementation Week 6. Group advising.
- Week 14: No class (individual advising sessions instead).
- Week 15: Review semester's learning. Reflection and evaluation activities, hand in your final report.

Grading

graded A⁺ - F

Additional Comments

iPad is required for this class as the majority of the coursework is provided via online platform. Please talk to the Bekka office if you do not have one.

This course is open to any student who has NOT completed a SALC module or course before. The number of students in this course may be limited if necessary. Spots will be determined on a first-come first-served basis.

< ELLC >

· * ·				
	Robert Stevenson	2 credits		
Effective Language Learning Course II A		Elective		
		Fall semester		
		Thu 2 nd period		

Language Lectures will be delivered in English

Enrollment Quota A draw will be held if the number of Bekka students is over 5.

Note: This course is listed in the undergraduate program. This course is designed for nonnative speaker of English.

Subtitle Become a more effective language learner

Course Descriptions & Objectives

In this course, students will (1) design a learning plan that suits their goals and interests, and then try out that plan in order to build awareness of strengths and weaknesses and improve language skills. (2) Students will reflect on their learning with help from Learning Advisors and interaction with classmates.

Lecture Topics

- Week 1: Class Introduction/Orientation (about this course, expectations, grading, and learner profile) and looking at your language learning history.
- Week 2: Receive your learning pack. This class will focus on your current learning needs, your current study strategies, and goal setting.
- Week 3: This class will focus on evaluating your current skill levels and drafting your learning plan.
- Week 4: Attend a 30-minute one-to-one advising meeting with your advisor/teacher about your learning plan /make changes to your plan.

 NO CLASS on this day.
- Week 5: Submit revised learning plan / start work on weekly plan 1. Sharing / short workshop / SALC studies.
- Week 6: Work on weekly plan 2. Sharing / short workshop / SALC studies.
- Week 7: Work on weekly plan 3. Sharing / short workshop / SALC studies.
- Week 8: Attend a 30-minute one-to-one advising meeting with your advisor/teacher. Evaluate and modify your learning plan.

 NO CLASS on this day.
- Week 9: Work on weekly plan 4. Introduction to "Peer Sharing" / short workshop / SALC studies.
- Week 10: Work on weekly plan 5. "Peer Sharing" / short workshop / SALC studies.
- Week 11: Work on weekly plan 6. "Peer Sharing" / short workshop / SALC studies.
- Week 12: Work on weekly plan 7. Evaluate and modify your learning /"Peer Sharing" / short workshop / SALC studies.
- Week 13: Shared reflection workshop. Evaluate your learning progress. Get information about the final report.
- Week 14: Attend your final 30-minute one-to-one advising meeting with your advisor/teacher. Review information about your final report.

 NO CLASS on this day.
- Week 15: Complete your final report and submit your learning portfolios/packs. Final course reflection.

^{*}activities subject to change at instructor's discretion.

Grading

Attendance and Participation: 20% Self-directed learning process: 60%

Documentation/pack/portfolio (strongly encouraged, not assessed)

Final Report: 20%

Additional Comments

This course is open to any student who has already completed a SALC module or course. You must have completed a SALC module or course before in order to enroll in this class. The number of students in the class may be capped in the first meeting, if necessary.

2019 年度 秋学期 神田外語大学留学生別科 科目概要

2019 年 8 月発行 編集・発行 神田外語大学留学生別科 〒261-0014 千葉市美浜区若葉 1-4-1 電話番号 043-273-2056 無断転載を禁じます